

財団法人仏教伝道協会

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日より平成23年3月31日に至る財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。(各項目番号は寄附行為に定めた事業の番号である。)

1. 事業一：仏教聖典の現代語訳、外国語訳ならびにそれらの刊行

(1) 「仏教聖典」各国語訳とその出版に関する事項

人類の平和を目指し全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳、改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語となった。また聖典を現代に即した内容にするため、本年度はフランス語を改訂、刊行した。引き続きイタリア語、ロシア語等主要言語の改訂を進めている。

(2) 「仏教聖典」の普及に関する事項

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動は、国内では新規ホテル、病院約150軒を加え約20,000冊寄贈補充した。また海外では新たに約200軒のホテルより申し込みを受け62か国のホテル等に約50,000冊を寄贈し、内外合せて約12,000軒のホテル140万室に至った。

教育や伝道教材および入学ならびに卒業記念品として「仏教聖典」を頒布した。全国の寺院幼稚園、保育園、高等学校、大学で「和文仏教聖典」を約19,000冊、「和英対照仏教聖典」を約10,000冊活用していただいた。

印刷と製本を経ずに提供する電子書籍版の「仏教聖典」として、アップル社 iPhone並びにiPod touch用のアプリケーションを8月に発売、日本語版378冊と英語版141冊を頒布。今後、基本OSアンドロイドを搭載した製品からも閲覧できるよう準備を進めている。

(3) 「大蔵経」の英訳編集とその刊行に関する事項

仏教思想をさらに多くの人びとに弘めるべく、普及に努めている「仏教聖典」の原典である「大蔵経」の英訳事業は、139典籍のうち43典籍が翻訳進行中で、その他の96典籍は部分訳を含めて、すでに受領した。受領典籍のうち69典籍は、日本の英訳大蔵経編集委員会と米国バークレー市の仏教翻訳研究センターに設置の英訳大蔵経出版委員会との協力体制のもと、英訳大蔵経として出版、既に41巻が出版された。

また、BDKアメリカホームページ上にて「妙法蓮華経」他17典籍(PDFファイル)を公開している。

2. 事業二：仏教講演会、仏教聖典講座等の開催

(1) 世界の主要大学に仏教講座開設に関する事項

学問や教育の面から仏教を伝えるべく、海外15の大学に基金を寄付し、その基金による沼田仏教講座を本年度は次の通り開講した。

| 開講学校名 | 教授名 | 講座名 |
|----------------------|---|--|
| カリフォルニア大学 バークレー校 | Jens-Uwe Hartmann 教授 (ミュンヘン大学) | 「仏教と仏教経典」 公開講座：「インド・ローマ・中国の間：ガンダーラにおける仏教」 |
| ハーバード大学 | Charles Hallisey 教授がハーバード大学沼田教授に就任 Hallisey 教授 2010-2011 年サバティカル | |
| シカゴ大学 | Matthew Kapstein 教授 (シカゴ大学) | (1)「チベット研究の紹介」 (2)「仏教哲学」 (3)「インド哲学」 |
| スミス大学 | Jamie Hubbard 教授 (スミス大学) | 2010-2011 年、Hubbard 教授は同志社大学にて講義 |
| ハワイ大学 | 10 - 11 年度はプログラム無し | |
| 米国仏教大学院 | Richard K. Payne 教授 (米国仏教大学院) | 「日本の仏教伝統における論題：往生要集」 |
| | Jacob Dalton 教授 (UC バークレー) | 公開講座：「いかに陀羅尼が主要タントラになったのか： 敦煌以降における仏教言語の儀式使用」 |
| | Kenneth Lee 教授 (カリフォルニア州立大学ノース リッジ校) | 公開講座：「親鸞の『皇太子聖徳奉讃』」 |
| カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 | Christoph Anderl 教授 (IKOS) | 公開講座：「禅のデータベースプロジェクト」 |
| | Christian Luczanits 教授 (UC バークレー) | 公開講座：「未来永劫への近づき：クシャ時代の菩薩と弥勒」 |
| | Robert Campany 教授 (南カリフォルニア大学) | 公開講座：「『冥祥記』：中国初期の仏教説話コレクション」 |
| | Griffith Foulk 教授 (サラ・ローレンス大学) | 公開講座：「禅と葬式仏教の構造」 |
| トロント大学 | Natasha Heller 教授 (UCLA) | 公開講座：「元朝時代における出家者」 |
| | Anne Monius 教授 (ハーバード大学) | 公開講座：「タミル文学における宗教的"他"としての仏教徒の運命」 |
| | Todd Lewis 教授 (ホーリークロス大学) | 公開講座：「Sugata Surabha の根源と情緒」 |
| | Albert Welter 教授 (ウィニベグ大学) | 公開講座：「中国宋朝時代の仏教学派とインテリ傾向」 |
| | Charlene Makley 教授 (リード大学) | 公開講座：「偉大な慈悲：中国のチベットにおける自然災害と悲しみ」 |
| | Christian Wedemeyer 教授 (シカゴ大学) | 公開講座：「民族の問題：インド密教と原始宗教」 |
| マギル大学 | Dorji Wangchuk 教授 (ハンブルグ大学) | 「チベットにおける仏教タントラ彫刻」 公開講座：「仏教哲学と宗教の対話に向けて」 |
| カルガリー大学 | Leslie Kawamura 教授 (カルガリー大学) | 「東洋の宗教」 公開講座：「大乘仏教の儀礼と陀羅尼」 |

| | | |
|------------|---|---|
| オックスフォード大学 | Vesna A. Wallace 教授 (オックスフォード大学) | (1) 初期仏教の教えと行 (2) 歴史・社会の中の仏教 |
| ロンドン大学 | Tadeusz Skorupski 教授 (ロンドン大学) | 「インド・チベット仏教の固有順列」 |
| ライデン大学 | 船山 徹 教授 (京都大学人文科学研究所) | 「中国とインドの聖僧 - 仏教徒の視座から - 」 公開講座：「自称聖者：中世中国仏教における自称と聖の概念」 講読：「兜率願生：玄奘と諸僧」 |
| ウィーン大学 | Vincent Eltschinger 教授 (オーストリア科学アカデミー) | 「仏教における自我」 講読：「維摩詰経」 |
| ハンブルグ大学 | Imre Hamar 教授 (エトヴェシュ・ロラード大学) | 「中国における仏教教義の展開」 講読：「華嚴仏教」 |

3. 事業四：仏教研究学生に対する奨学金の支給

(1) 奨学金の支給

仏教の学術振興に資するため、日本に於いて仏教研究に従事する海外からの学者・研究者または学生に対して給付する奨学金を設け、本年度はイタリア人研究者・アルベルト・トーデスキーニ氏（龍谷大学研究員）、中国人研究者・ロウ・ホン氏（龍谷大学研究員）に支給した。

4. 事業七：内外仏教諸教派との協力交流および他宗教との協力等目的達成に必要と認める事業

(1) 仏教伝道文化賞の贈呈に関する事項

仏教の高揚と啓発を目指し、仏教伝道に貢献された方がたを顕彰するため、本年度第45回仏教伝道文化賞には、文化賞A項（研究・論文・著述・翻訳・踏査・出版・その他）を、浄土教の研究に取り組み、親鸞思想を近代的視野で掘り下げ展開した功績により信楽峻磨師に、文化賞C項（伝道者・実践者・その他）を、仏教精神に基づいた農村開発活動のサルボダヤ運動を展開し、その輪を世界に広めた功績により、アハングマゲー・テューダー・アリヤラトネに贈ることが決定した。同贈呈式を、平成23年3月17日に挙行予定であったが3月11日に発生した東日本大震災の影響により、贈呈式を延期、本年10月12日に挙行する予定である。

(2) 実践布教研究会開催について

6月2日～6月4日の2泊3日間、「布教伝道」をテーマに伝道者としてのあるべき姿を学ぶため、今回は日光・月光菩薩を取り上げ、全国より若い僧侶を中心に69名が参集、法相宗大本山薬師寺を会場に第40回実践布教研究会を開催した。2日目は薬師寺 長老 安田暎胤先生「百万巻写経発願のこころ ～写経の実践とともに～」、薬師寺 管主 山田法胤先生「法相宗に学ぶ ～唯識のこころ～」、華嚴宗 大本山東大寺 長老 森本公誠先生「華嚴宗に学ぶ ～華嚴のこころ～」、薬師寺 執事長 村上太胤先生「布教伝道 ～日光・月光菩薩に学ぶ～」、3日目は、律宗 総本山唐招提寺 執事長 西山明彦先生「律宗に学ぶ ～金堂平成大修理・鑑真和上のこころ～」をテーマにそれぞれ講話をいただいた。また「都市化、少子化、情報化社会に対応した布教の在り方」をテーマに分科会を行い、現代の布教伝道に対する僧侶間の活発な意見交換が行われ、宗派を越えて互いに親睦を深めるとともに研鑽を積んだ。

(3) 宗教教育教材の施本刊行について

新々みちしるべシリーズ、一日一訓カレンダー「てらす」を刊行。カレンダー解説書 新々みちしるべ『てらす』執筆者 亀井 鑛 (NHKこころの時代司会者) を教化教材として刊行、全国の寺院に頒布した。

また、松林宗恵師の伝記や法話を含む仏教講話集『まことしやかに さりげなく』執筆者 大住広人 (仏教伝道文化賞選定委員) を刊行、全国寺院、書店等に頒布した。

(4) 内外の宗教団体・学術団体等との交流に関する事項

(イ) 仏教伝道に関する助成については、本年度は主に以下のような法人・団体に対して金額の助成を実施した。

東京親鸞会

南無の会

財団法人全国教誨師連盟

財団法人東方研究会

日本印度学仏教学会

劇団前進座「法然と親鸞」海外公演実行委員会

(ロ) 仏教伝道協会が所有する下記の土地、建物の寄付を実施した。

ハワイ研修所の建物 (寄付先: 公益法人BDK Sudatta Hawaii)

米国バークレーの土地 (寄付先: 公益法人Bukkyō Dendō Kyōkai America, inc)

東広島市の土地 (寄付先: 宗教法人浄蓮寺)

(5) 仏教伝道拠点の拡充に関する事項

仏教普及活動のための伝道拠点の維持、管理を行い、これを継続する。

5. 仏教伝道センタービル活用に関する事項

(1) 会議室使用状況 673件

(2) 駐車場使用状況 月極 12台

以上